

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年12月25日

事業所名 あゆっこ江津

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が個人プログラムを行うスペースとの関係で適切であるか	5			個人プログラムとしての専用設計ではないが、十分な広さはある	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2		事業の内容や定員に対する配置としては不足していない	今後の事業継続のことを考えると、業務に携われる職員の育成が必要である
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			センター内はバリアフリーとなっているが、構造は複雑であるため、表示等で案内をしている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			全体で個別支援検討会を実施し、中間評価を行っている 定期的に中間評価を実施し、利用者について情報共有している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			年1回アンケートを実施し、保護者の意向の把握に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	公開している	公開していることを職員に知らせて共通認識とする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	1	第三者による外部評価は実施していない	第三者による外部評価の実施に向けた調整等を行いたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		センター内の各種研修会に参加している	今後も積極的に研修に参加する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2		アセスメントをもとに原案を作成し、支援計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			定期的実施される心理評価の情報を共有している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		日々の課題は担当者が立案。中間評価の中で全職員で個別の計画内容を確認している	
	12	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	3	2		課題の達成状況をみながら、ステップアップを図っている	認知や行動面だけでなく、感情や動機づけにおいて楽しいと思える課題を設定する
	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		1	朝のミーティングにて全体で役割分担等の確認をしている	

	14	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	2	個別に都度、振り返りを行っているが、全体での共有はしていない	2週間に1度、職員間で支援の振り返りを行い、情報を共有する
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎回記録し、その記録を次回の立案に繋げている	
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	2		定期的な中間評価に基づいて放課後等デイサービス計画の見直しを行っている	
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	2		個人プログラムの課題として実施可能な活動は取り入れている	
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	1	担当者、または児童発達支援管理責任者が参画している	
	19	学校との情報共有(学校訪問など就学後のフォロー)を適切に行っているか	2	2	1	就学移行支援として「引き継ぎ」を実施し、その後もケースに応じて学校を訪問し、フォローを行っている	
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1		現在、派遣型の利用者において主治医と連絡体制を整え、地域の医療によるバックアップを受けている	
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	就学後に園と情報共有するケースはなかった	
	22	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	2	ケースにより連携している。研修等へは個人レベルの参加となっている	
	23	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		2	3	地域に自立支援協議会の子ども部会がない。放デイの連絡会等への参加はあった	
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			個人プログラムの実施内容と子どもの状況については毎回保護者へお伝えしている	
	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	2	ペアトレは実施していないが、保護者からの相談に対して助言等を行っている	プログラムとしては実施していないが、個々の家族に対して引き続き相談、助言を行っていく
保護者への	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に、契約書や重要事項説明書をもとに説明している	
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		保護者との面談は常日頃から実施し、必要に応じて助言や支援につなげている	

説明責任等	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			センター内に苦情受付窓口を設置して体制を整備するとともに、第三者委員や県の相談窓口についても保護者へ周知している	
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		2	3	事業所独自の会報は発行していないが、当センターの会報に参画し、発信している	
	30	個人情報に十分注意しているか	5			他機関との連携等で必要な場合は、その都度、取り扱う目的や内容等について保護者の了解を得ている	保護者との面談の際は周囲の環境に配慮する
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			子どもの理解力や特性、コミュニケーション能力に合わせ、伝え方等を工夫している。また、次回利用日の確認において、用紙に記入しお渡ししている	
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		1	事業所単独では実施していないが、センターの行事に参画している	センターとして実施している
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			センターとして策定しているが保護者への周知は不十分である	インフルエンザやその他の感染症についてのマニュアルを周知徹底していく
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	4		1	センターの訓練に参加しているが、事業の性質上利用者の参加は難しい状況にある	利用者及び保護者と一緒に訓練することも検討する
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待防止委員会主催のグループワークに年2回参加している	今後も虐待についての意識を高める取り組みをしていく
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			センター全体で報告される事例については毎月確認をしている	事例集はいつでも閲覧できるようにわかりやすい場所に設置する